

2023年度 個人情報取扱いにおける 事故報告集計結果について

一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS)
2024年7月10日



一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会
Japan Users Association of Information Systems

集計結果1

本資料は、2023年度にプライバシーマーク付与事業者の皆さまよりご報告いただいた個人情報の取扱いにおける事故等の報告書をまとめて集計したものです。ご参考にしていただければ幸いです。

●年度別にみる事故報告

2023年度（2023/4/1～2024/3/31）、JUASには484社より1,391件の事故報告書が提出されました（表1）。

表1 JUASに事故報告を行った年度別事業者数と報告件数

年度	報告事業者数（社）	報告件数（件）
2023（2023/4/1～2024/3/31）	484	1,391
2022（2022/4/1～2023/3/31）	342	968
2021（2021/4/1～2022/3/31）	255	996

集計結果2

● 事案別にみる事故報告

事案別にみると、「誤送付（郵送、メール、FAX）」が815件（58.6%）、「ネットワークを介した事故（不正アクセス）」220件（15.8%）、「情報システムの運用上の事故」189件（13.6%）、となりました。（表2、図2）

表2 事案別報告件数

事案分類	2023年度		2022年度		2021年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
誤送付（郵送、メール、FAX）	815	58.6%	623	64.4%	694	69.7%
ネットワークを介した事故（不正アクセス）	220	15.8%	39	4.0%	27	2.7%
情報システムの運用上の事故	189	13.6%	159	16.4%	92	9.2%
置き忘れ・紛失	126	9.1%	94	9.7%	123	12.3%
従業員の認識不足による目的外利用・不正利用	26	1.9%	30	3.1%	46	4.6%
誤廃棄	4	0.3%	10	1.0%	6	0.6%
退職者・従業員による意図的行為（犯罪を含む）	4	0.3%	2	0.2%	5	0.5%
盗難	3	0.2%	3	0.3%	0	0.0%
保管の不備	1	0.1%	2	0.2%	1	0.1%
手続きの不備	1	0.1%	4	0.4%	0	0.0%
その他の過失	2	0.1%	2	0.2%	2	0.2%
総計	1,391	100%	968	100%	996	100%

集計結果2

事案分類別件数をみますと、例年通り「誤送付」の割合が一番高く（58.6%）、依然として「誤送付」が事業者にとってリスク度の高い事案であることが見受けられます。「ネットワークを介した事故（不正アクセス）」が2番目に件数が多く、今後注意すべき事案であることが示されています。

図2 2023年度事案別報告件数（n=1,391）

